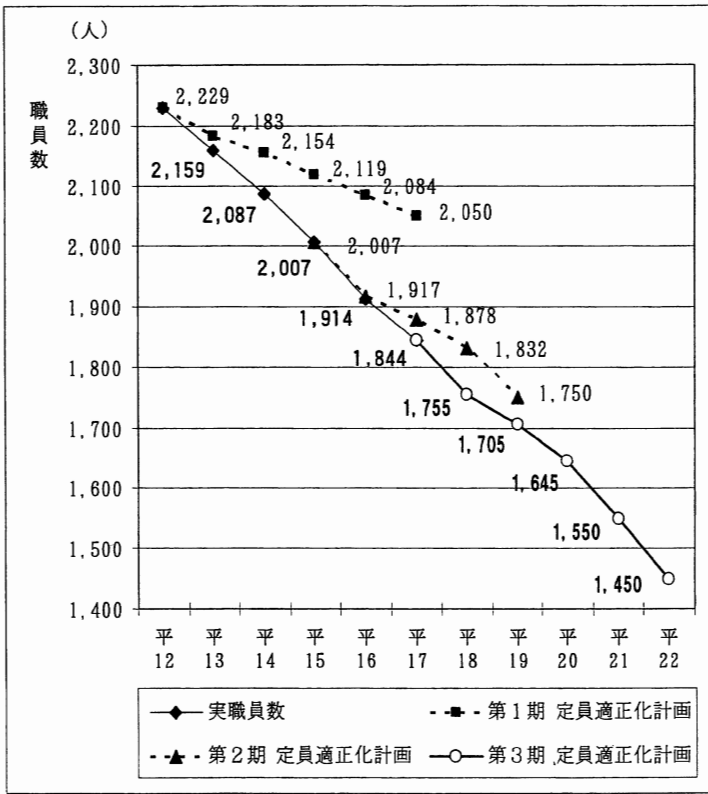


寝屋川市 第3期定員適正化計画 (参考資料)

職員数及び定員適正化の推移



各年度4月1日現在の職員数

国・地方の公務員の内訳(万人)

国家公務員 68.4 万人	行政機関 33.2	自衛官 25.2	その他 10.0
地方公務員 308.4 万人	教育 115.4	福祉 42.8	企業 公営 39.5
		警察 27.1	消防 15.5
			行政一般 68.0

※□部分は、国が職員配置基準を定める分野。
 「その他」は、国会・裁判所・特定独立行政法人など。
 内閣官房行政改革推進事務局の資料から。
 国家公務員は06年3月末の、地方公務員は04年4月1日の人数。

「行革」法案—教育・福祉・消防など くらしに必要な公務員減らす

先取りする寝屋川市 新たに約四百人の職員削減計画

小泉内閣が最重要法案として「行政改革」推進法案の審議が衆議院の特別委員会でおこなわれています。

法案は、5年間で国家公務員を5%以上、地方公務員を4・6%以上純減すると明記されています。8割をしめる地方公務員を狙い、国が配置基準を定めている教育・福祉・警察・消防など、くらしと安全を守る行政責任を放棄するものです。

「官から民へ」、「小さな政府」を掲げていますが、保育士などは官も民も同じ配置基準です。国の基準切り下げは、官も民も質を落とすこととなります。

職員と市民 犠牲の計画

日本の公務員数は、人口当たりの比較で人件費をGDP(国内総生産)比で見ると、OECD(経済協力開発機構)加盟国で最低です。今回の法案で、文部科学省は小学校1年生に35人学級を可能とする計画を取り下げました。

寝屋川市は、2000年から職員削減計画を立て、前倒しで目標達成してきましたが、国の動きを先取りし、05年度〜09年度(5年間)の第3期定員適正化計画を策定しました。

この間、寝屋川市は、員適正化計画を策定しました。

このため、保育所では、27名が、幼稚園では、担任31名中6名がアルバイト職員となっています。生活保護ケースワーカーは一人あたり80件が標準ですが、配置不足のため、95件と過重負担の状況が続いています。枚方寝屋川消防組合でも、職員の削減、車両の削減などが進められています。

視界

改憲の前の大掃除に教育基本法を変えると言ったのは中曽根康弘氏でした。国会で教育基本法「改正」提案の動きが強まっています。教育基本法は、「日本国憲法の理想を実現する力は教育に待たなければならぬ」と、憲法と一体のものとして定められました▼教育権は国家から国民のものになるはずでした。ところが、軍国主義を一掃し、平和で民主的な社会をめざす政府が樹立されたときには、日本から撤退するはずだった連合軍のうち、米軍だけが居残りしました。その後今日まで、憲法の理想の実現は踏みにじられたままです▼99年に「国旗国歌法」が強行されて以降、戦前に逆行したかのような卒業式・入学式の異常なおしつけが東京都で始まりました。寝屋川でも、市教委は「君が代」を歌う子どもの声の大きさを問題にしています▼私は、国民主権に反する「君が代」は歌いません。そして、送別の「螢の光」は歌えない歌です。日本の境界の防衛につく兵士を見送る歌だからです。3番、4番を知らず、1番と2番の意味がわかってきます。



発行
日本共産党
寝屋川市議員団
824-1181
(内線 2399)
FAX No. 824-7760
Email: jcpncc@cc-net.or.jp
No. 1929

- 田中 ひさ子
国松町 10-36
☎ 823-1714
- 寺本 とも子
豊里町 38-1-105
☎ 829-9424
- 中林 かずえ
宝町 4-33
☎ 839-2289
- 中谷 光夫
高宮 155-8
☎ 823-5947
- 松尾 信次
下木田町 12-6
☎ 821-7427

「反対」を表明せず 「改革を理解している」馬場市長

高齢者をねらいうち 「命の格差」広げる医療改悪法案

6日、小泉内閣が重要法案と位置づける医療改悪法案が、衆院で審議入りしました。

法案は、高齢者への容赦ない負担増、医療費の総額抑制と療養病床の削減、保険のきかない医療の拡大など、公的医療制度の土台を崩す内容です。

3月市議会の日本共産党代表質問で、松尾議員がとりあげ、市長に反対するよう求めました。

とくに、保険がきかない医療、患者に全額負担を求める医療の拡大は、日本の財界とアメリカの保険会社、医療業界の強い要求で

す。収入の大小が「命の格差」になります。社会保障としての公的医療保険に求められて

いるのは、保険適用の拡大、患者負担の軽減です。馬場市長は、国民皆保険を世界に類のない制度と評価しながら、その制度を壊す法案を、「医療制度を将来にわたる持続可能なものにしていく」改革案として理解をしていると答弁しました。

高過ぎる国民健康保険料や医療費の窓口負担に苦しむ人が多いこと、また、介護型病床の全廃などにより6年間で23万床削減され

赤旗掲示板 何者かが放火

萱島東二丁目で、赤旗掲示板が何者かによって放火されるという事件がありました。(四月五日未明と推定)。

掲示板はガレージのブロック塀に設置されているもので、幸い他の場所に被害が広がることはありませんでした。

たが、プラスチック製の掲示板とポスターが焼失しました。

現場は周辺に飲食店があり、夜間も明るい場所です。人通りがなく夜中に、何者かが放火したものとみられます。

政党的ポスター、掲示板への放火は、言論表現の自由、政党活動の自由を侵害する悪質な犯罪であり、到底許されぬものです。

9日、お天気にも桜の花にも恵まれて、最高の花見を後援会の皆さんと楽しみました。

議員日誌



中谷 光夫

この間、議員に届けられる市の資料、党議員団で閲覧される資料は、すぐ山になるほどあります。

その中で、アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会アメリカ連帯委員会の機関紙に目を奪われました。ベネズエラの女性国会議員の挨拶です。わかりやすく歯切れよい。自分もそうなりたい、そうありたい。願いと同時に焦る一瞬です。頑張ります。

医療改悪法案のポイント

- ▶高齢者狙い撃ち
 - 高齢者患者の窓口負担増
 - ・現役並み所得の70歳以上の高齢者 2割 → 3割 (今年10月～)
 - ・70歳～74歳の高齢者 1割 → 2割 (2008年4月～)
 - ・長期入院する高齢者の負担増 70歳以上の高齢者に食費、居住費の負担 (今年10月～)
 - 介護療養型医療施設の廃止 (22年4月～) 医療・介護型合計38万床を医療型のみ15万床に大削減
 - 高齢者医療制度の創設 (08年4月～) 75歳以上の全高齢者から保険料徴収など
 - ▶高額療養費の自己負担限度額引き上げ
 - ▶保険のきかない医療分野を拡大する「混合診療」の本格的な導入
 - ▶「医療費適正化計画」導入で医療給付費の抑制を狙う

れば、特別養護老人ホームの待機者が全国で38万人を超える中(寝屋川では243

名)、入院患者の行き先がないなどの現実をみない考えです。